



仙台市議団 News

発行責任者 つじ 隆一
編集責任者 相沢 和紀
〒980-8671
仙台市青葉区国分町3-7-1
仙台市議会内 社民党仙台市議団
TEL 214-8714 FAX 711-3453

躍進する杜の都 新たなステージへ

郡和子氏が市長に就任し1年半が経過しました。この間、35人以下学級の拡大、普通教室等へのエアコン設置、出産から子育てまで切れ目のない支援策(仙台版ネオボラ)、更に保育所支援など子育て支援策の拡大など着実に歩みを進めています。

しかし、本市の財政状況は、自主財源は6割程であり、地方交付税等の支援なくしては成り立たない状況です。

いじめの防止条例を制定

今議会では「人が集い、成長し続けるまちづくり」などを柱とした一般会計5563億円余の他、特別・企業会計を含めた1兆1093億円の新年度予算を決定しました。

また、郡市長が公約に掲げたいじめ対策では、いじめの防止条例が可決されました。

条例前文では「いじめは、子どもも持つ権利を侵害し、人格に形成に影響を与え、心身に重大な危険を生じさせる恐れのある決して許されない行為である」とし、基本理念では学校が児童生徒にとって安心で、自己有用感、自己肯定感を高める場で、要因の把握・再発の防止などの対策を講じる。教職員には体罰

や不適切な指導の禁止を求めると共に、市、教育委、学校、保護者、そして地域にも責務を定めています。

地域課題など183項目の要望書を提出

社民党仙台市議団は、108万仙台市民の安全・安心と平和な社会を求めて市政運営に関わる要望と新年度予算などに関する具体的な要望を昨年10月5日に提出し、本年1月25日に回答を得ています。

条例の制定を求めて5項目、組織および人員体制などに関して5項目、市民生活に関して3項目。そして具体的な政策・予算要望として全市対象(4課題95項目)と各区対象(青

-15、宮-13、若-13、太-20、泉-14、計75項目)合計183項目となっています。

奨学金返還支援事業がスタート

郡市長が公約に掲げた「給付型奨学金制度」ですが、奨学金返還の支援事業としてスタートすることになりました。

若者(大学等の新卒者)の地元定着を目的としたもので、経済成長戦略の一環としての事業です。市内中小企業への就職者のうち奨学金返還を行っている者を対象として、その返還支援を行う制度です。

多くの大学を抱える仙台市、そして優秀な人材を求める企業、そして返済に窮する学生

- と3者にとってプラスになる事業です。
- ◇2020～22年度の新卒者が対象(年間70人、計210人を予定)
- ◇支援額は年間18万円(3年間で54万円上限)
- ◇中小企業と市が折半して基金をつくり、支給する
- 尚、3年間の事業としてスタートしますが、利用状況等を見た上で延長も行う考えです。



小山議員、石川議員、郡市長、辻議員、相沢議員、ひぐち議員

泉区版

実現力で未来創りへ着実な歩み



石川 建治 市議

この4年間(2015年第3回定例会～2019年第1回定例会)、『未来を創る』をスローガンに、本会議で10回、予算および決算等審査特別委員会で延べ14回、その他各委員会等で質疑を重ね、政策を実現してまいりました。

これまで実現した政策や事業のうち、交通系ICカード『イクスカ』は利用が約9割に上り、コミュニティサイクル『ダテバイク』も5万3千人ほどが登録利用するなど、右肩上がりで利用されています。

議員提案した『空家等の適切な管理に関する条例』により、初めて行政代執行による解体工事が実施されました。

一昨年には、「孤独な子育て」「孤立する子育て」の現状を変え、みんなで子育てを応援する仕組みを創ろうと提案した『祖父母手帳』が実現しました。

郡和子市長になり、切れ目のない子育て支援、35人以下学級の拡大、普通教室へのエアコン設置、奨学金返還支援制度の導入など、未来を担う子どもたちへの支援が大きく前進しました。

公立保育所の移転建設を、保護者や地域の方々々と力を合わせ、現地建て替えに変更させることができました。「これからも子どもたちの元気な声がかどます地域でありたい」という思いが力になりました。

これからも、市民や地域の思いに応えるよう歩んでまいります。

【議会で取り上げた主な項目】

- ◎祖父母手帳の提言
- ◎子どもの貧困対策
- ◎就学援助費の改善
- ◎学校給食アレルギー対応食提供の促進
- ◎図書館行政のあり様
- ◎化学物質過敏症対策
- ◎豪雨災害の対策強化(八乙女中央4丁目雨水排水ポンプ改修)
- ◎総合計画の策定
- ◎空き家の利活用
- ◎地域主体の課題解決・魅力づくり事業
- ◎「市民の足」公共交通政策
- ◎経済成長戦略等経済政策
- ◎地域における子育て支援等
- ◎保育環境の拡充と待機児童の解消策
- ◎放課後児童健全育成事業の拡充
- ◎里親制度の拡充
- ◎教職員の多忙化解消
- ◎原子力防災対策
- ◎仙台リノベーションまちづくり
- ◎郊外居住地域づくり
- ◎東北学院大学泉キャンパス移転への対策
- ◎自転車の安全利用の推進策
- ◎投票事務の改善、若者の投票率向上策

108万仙台市民の生活向上をめざして

市政運営に対する要望の一部を掲載します。まとめた冊子がありますので、必要な方は各議員にご連絡下さい。尚、部数に限りがあります。

要望

「(仮称)子どもの権利条例」を制定すること。

回答

児童福祉法など児童の権利に関わる法律の改正等により、着実に児童の権利擁護に関する意識の啓発、趣旨の普及および浸透が進んでいる。今後具体的な施策を進めていく中で、条例としての制定の必要性等を含め、幅広く検討していく。

要望

「(仮称)給付型奨学金条例」を制定すること。

回答

国の新たな施策として本格実施されている大学生等への給付型奨学金や、宮城県による高校生等への奨学給付金など、様々な団体等による奨学金等の制度が実施されており、必要とする児童生徒、保護者に対して引き続き情報提供を行っていく。

要望

「(仮称)交通基本条例」を制定すること。

回答

「交通政策基本法」、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部改正等を踏まえ、市民生活を支える公共交通施策のあり方等について、次期「せんだい都市交通プラン」の策定も見据え、検討を進めていく。



仙台駅西口バスプール

要望

「(仮)公契約条例」を制定し、労働条件などの対策を講じること。

回答

労働者の労働条件の確保は本来、労働政策、賃金政策に係る全国的な法制の問題と考えている。今後も国や政令市の動向を注視していく。

労働条件などの対策については、一定の契約について、低入札価格調査を実施している。また、社会保険等への加入を入札参加登録の条件とするなど、契約制度の運用を通して労働条件の確保に努めていく。



戦争の記録等を展示しています

要望

「非核平和都市」の宣言を行うこと。

回答

非核三原則が、既に我が国の基本政策として確立していることから、本市として加えて宣言を行う考えはないが、核兵器の廃絶を始めとする国際平和の実現は人類共通の願いであり、核兵器が一日も早く廃絶されることを強く願っている。

要望

女川原子力発電所の稼働永久停止、廃炉を東北電力(株)および宮城県に申し入れること。

回答

原子力規制委員会の審査過程における評価や、電力事業者側の安全性向上を注視しつつ、市民の安全・安心を第一に、市民生活や経済活動への影響等を踏まえ、総合的に判断していくべきものと考えている。

要望

行政サービスの多様化に対応するとともに、コンプライアンスの遵守、過重労働の解消に向け適正な組織および人員体制とすること。

回答

少子高齢化等の社会情勢の変化により行政ニーズはますます多様化していくことから、組織・人員体制を整備するとともに外部資源の活用を適切に進め、的確に応えられるよう努めていく。

職員研修を実施する中で、職場内の意見交換等により、コンプライアンス意識の浸透に取り組んでいる。

今後も、取組みを継続的に実行し過重労働の軽減に努めていく。

市役所本庁舎建設 現地南側に19階建(約80m)が有力

築50年を超えた市役所本庁舎の建て替えに向けた検討が進んでいます。

1965年に完成し、1978年の宮城県沖地震、そして2011年の東日本大震災を経験した現庁舎は耐震補強工事を行ったものの、「コンクリートの中性化」の進行により耐用年数は10数年との診断が出されました。

この間、基本構想検討委、更に基本計画検討委が設置され、有識者による検討が行われています。市民意見の聴取などを行い、8月には答申案が示される予定です。

新庁舎は専有面積を37,500㎡、総面積を概ね65,900～68,000㎡としています。また、整備位置については用地取得や定禅寺通りの活性化等から現地建設とされました。

また、議会内にも新たな本庁舎・議会棟の整備調査特別委が設置され、多くの議論を行う中で、「議会棟は行政棟と一体で整備とし、専有面積は4,200～4,900㎡」を要望しています。



議論からのイメージ図

市立学校3,900教室にエアコン整備

昨年夏の異常な暑さを受ける形で、市立学校の普通教室や職員室にエアコンが整備されることになりました。予算は既に30年度の補正予算で134億円が計上され、中学校25校分については工事発注が行われました。順次、設計が整ったところから発注され、新年度中に終わりたいとしています。工事による学習環境への影響を最小限にする予定です。

勾当台のトンビ

◆旧4号線を挟んで、東に宮城県庁、そして西に仙台市役所が位置している。徒歩2・3分ではあるが両者の間には見た目以上に距離を感じる◆
大阪府と大阪市の関係において「二重行政」が問題視され、『大阪都構想』で大きく揺れた。結果は僅差であったが現状維持となった。そして今また首長の交代による選挙が行われようとしている◆
◆振り返って宮城県と仙台市の間で「二重行政」問題となっているだろうか？
陸上競技場も図書館も本市の周辺に整備された。建て替えの検討に入った県民会館は現地で外とされる◆人口では47%を占める仙台市。当然、県税を納めている市民の意見は反映されているのだろうか？